

令和7年度 港町小学校第5回学校運営協議会記録

令和8年2月6日(金)
14時00分～15時25分
於：港町小学校校長室

1 出席者

区分	氏名	出欠	区分	氏名	出欠
保護者	岡本 卓也	出	教育委員会が 適当と認める 者	榎 久仁裕	出
				平原 正敏	出
				佐古 隆則	出
地域住民	川畑 勝之	出	学識経験者 設置校職員		
	家頭 昌成	欠		石川 裕子	出
				畠藤 晃	出

事務局：教頭 古谷 健

説明者：校長 畠藤 晃

2 議題及び協議内容（概要）

- 開会
 - 【校長】あいさつ
- 自己紹介
- 審議
 - 設置要綱に基づき、榎会長が司会を務める。
- 学校説明（資料「令和7年度 評価計画及び自己評価」に基づいて）
 - ・ 確かな学力の向上について【教務研修部 吉本・今村】
 - ・ 豊かな心の育成について【生徒指導部 富永】
 - ・ 健やかな体の育成について【保体部 芥川】
 - ・ 業務改善について【教頭 古谷】
- 質疑
 - 【平原委員】
 - ・ 授業の様子を見て感心した。学力向上の取組みなどにより結果が付いてきているようなので。継続して取り組んで欲しい。
 - 【岡本委員】
 - ・ 「授業のあしあと」の取組みが良かった。授業の時には理解できなくても、その後理解してくることもある。そういったときにこの取組みは効果的ではないかと思う。
 - 【佐古委員】
 - ・ 「授業のあしあと」について、記録は日頃どうしているのか。
→ 授業で使用した小黒板を写真に撮って残したり、グループ学習で使ったホワイトボードをそのまま残しておいてその後使ったりしている。
 - 【石川委員】
 - ・ 言葉の表現力などを育成し、タブレット端末を用いて個々の思いを表現できるようになっている。先日行った2年生と年長との交流では、おもちゃづくりの活動を通して年長が1年生へ向けての思いを強くしたようだった。交流活動の中で一番うれしかったことは、手をつないでトイレにつれていってくれたことだ。不慣れた場所のトイレに行くという不安な気持ちが手をつないでくれたことで安心が変わった。子ども同士のふれあいができたのは日々の教育の表れだと思う。進学・進級など次の段階に進むいい姿が見られた。
 - 【川畑委員】
 - ・ 学力の向上など9月の評価ではB評価であったところがAに変わった箇所がある。次回の調査

まで維持するのは大変だと思うが、良い兆候だ。

- ・ 防災への取組について、1月6日の地震で児童の様子がどうだったか知りたい。
→ 当日は冬季休業中だったが、児童会では机の下で揺れが収まるのを静かに待つことができた
と聞いている。
- ・ 年1回でも訓練していれば結果は違ってくると思う。
- ・ 体力・運動能力について、県レベルで低下している。コロナ期以前は体力づくりへの取組みが盛
んだっ

たと思う。今後も進めてほしい。

【榎委員長】

- ・ B評価からA評価に変わったからといってすぐにハードルを上げるのではなく、地道に取り組
みを進めていってほしい。学校のさじ加減で評価がいいようにされていると批判を受けるかもし
れないが、負けずにやってほしい。
- ・ 長時間勤務の削減に係るCの評価は仕方がないのではないか。先生方の体調面について気を付
けてほしい。
- ・ 職員間での情報共有はとても大切なことなのでしっかりして欲しい。

【校長】

- ・ 地域学校協働活動の説明
- ・ 令和8年度の学校運営協議会について
クレイトンベイホテル支配人 佐々木氏 元港町小PTA会長 長岡氏が加わる

3 その他

- 次回 (令和8年度) 第1回 4月8日(水) 15:30~